

「世界津波の日」制定記念碑建立

「世界津波の日」が「稲むらの火」の11月5日に制定されたことは、これまでお伝えをし、皆様もご承知いただいていることと存じます。

その中心施設である「稲むらの火の館」に、「世界津波の日制定記念碑」が建立されました。4月8日に、世界津波の日の制定を提唱されました自由民主党幹事長・衆議院議員二階俊博様、和歌山県知事仁坂吉伸様、内閣府特命担当大臣・参議院議員鶴保庸介様等大勢の来賓をお迎えして、記念碑の除幕式を執り行いました。



この記念碑を制作されたのは、町内下津木で生まれ育ち、現在も在住されています彫刻家の岡本勝利様です。作家の斬新なデザインの記念碑は「繋がる形」という題名です。今後また「稲むらの火の館」の名物になるでしょう。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

在関西領事団和歌山ツアー

4月12日外務省主催の在関西領事団和歌山ツアーの御一行が「稲むらの火の館」へ来られました。オランダ、パナマ、インドネシア、大韓民国、中華人民共和国、モンゴル、ドイツ、フィリピン、パキスタン、タイ、アメリカ、インド12カ国の大阪・神戸の領事館の総領事等23名がお見えになりました。

日帰りということで、館内の見学も1時間弱という短い時間でしたが、3D映画、アチェ津

波博物館コーナー、津波シミュレーション、濱口梧陵記念館と精力的に見て回られ、いろいろ質問もされました。「稲むらの火」に対する世界中の感心が高まってきていると感じました。



「稲むらの火の館」開館10年記念

「第6回稲むらの火講座」開催！

「稲むらの火の館」開館10年となります。開館記念「稲むらの火講座」を開催します。

今回は、「東日本大震災」の被災地、宮城県南三陸町から講師をお招きします。

演題 「東日本大震災から復興へ ～1000年に一度の震災は1000年に一度の学びの場～」

講師 阿部 憲子先生

南三陸ホテル観洋女将

日時 平成29年6月10日(土)午後1時半



講師は、宮城県気仙沼市出身で、現在南三陸町で女将としてホテルを経営されています。東日本大震災の際には、的確にお客様や近隣の人々を避難誘導し、その後はホテルを避難所として提供しました。現在は、毎朝南三陸町の被災地を巡る「語り部バス」を運行、「全国被災地語り部シンポジウム」を主催、震災からの復興、防災に取り組んでおられます。

講座の参加申し込みは「稲むらの火の館」までお願いします。電話64-1760です。

